



かがやけ！王子っ子

かながえる子 かんばる子 やさしい子 けんこうな子

東京都北区立王子小学校

校長 原田 英孝

令和5年6月30日

◆来校の際には、必ず、ネームプレートを着用し、受付をお通りください◆

環境は人を育てる

今年もはや7月。1年生が大切に育てている朝顔に、色とりどりの美しい花が開く季節となりました。日本の蒸し暑い夏に涼をそえてくれる朝顔の花も、夏休みが明ける頃には実となり、命をつなぐ種が立派に育っていることと思います。

さて、私は4月の着任以来、毎朝校門に出て子ども達と挨拶を交わすのを日課にしています。雨の日も暑い日も、可能な限り外に立ち続けるのは、「おはようございます！」の声に、子ども達が挨拶を返してくれたり、笑顔や会釈を戻してくれたりするのが嬉しくてたまらないからです。ほんの一瞬の出来事ですが、挨拶のやりとりの中には「互いの心が通い合ったような心地よさ」や「温もり」を感じさせる力があります。また、面識が少ない王子校中学校の生徒からも、とても礼儀正しく気持ちのよい挨拶をいただき、朝からたいへん爽やかな気持ちになります。このように素敵な挨拶が習慣化されている背景には、生活委員の生徒による挨拶運動が日常的に行われているとともに、部活動に取り組む中で礼儀や返事、挨拶を行うことが一人一人に浸透しているからなのだと思います。

私は、「挨拶の話」に限らず、「子どもを取り巻く環境」には、彼らの育ちに大きな影響を与える力があると考えます。学校は、これからも挨拶の取組を入り口にして、心が通い合う心地よさを子ども達がたくさん感じられるよう、心豊かに生活していける教育環境づくりをすすめていきたいと思っています。

さあ、これからあと3週間ほどで夏休みに入ります。子ども達は、この期間、より多くの時間を家庭や地域で過ごすこととなります。前述しました「挨拶の習慣＝環境」とも少し関連のある話として、ドロシー・ロー・ノルトの「子は親の鏡」という詩を紹介させてください。子どもの成長に最も大きな影響を与えているのが身近な大人の生き様や言動（環境）です。保護者の皆様方におかれましては、地域の伝統でもあります「互いを思いやり助け合ったりする温かな心の交流」を大切にしつつ、大人が手を取り合い、温かいまなざしで子ども達を育ててくださいますようお願い添えをお願い申し上げます。

『子は親の鏡』

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
 「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいとこだと思えるようになる



「子供が育つ魔法の言葉」

(ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス共著、石井千春訳、PHP 研究所) より

7月の行事予定

3日(月)	全校集会 開校記念日	13日(木)	クラブ活動
4日(火)	個人面談①(午前授業)	14日(金)	図書ボランティア読み聞かせ
5日(水)	集会(午前授業) フォローアップ教室	18日(火)	巡回拠点おうし指導終了
6日(木)	個人面談②(午前授業)	20日(木)	安全指導・安全確認デー
7日(金)	校外学習(3年)		夏休み前の全校朝会
8日(土)	個人面談③(午前授業) 土曜授業公開日 セーフティ教室 標準服リサイクル	21日(金)	5時間授業・大掃除
10日(月)	個人面談④(午前授業)	24日(月)	給食終了
11日(火)	個人面談⑤(午前授業)		夏季休業日開始
12日(水)	音楽朝会 フォローアップ教室 ことばきこえ教室指導終了		夏季水泳指導開始

5年生

6月8日(木)から10日(土)の3日間、5年生は岩井自然体験教室に行ってきました。昨年度的那須移動教室に続いて2回目の宿泊行事です。

今年度の5年生は、子供たちが主体的に活動することを意識しています。岩井自然体験教室では、プロジェクトチーム(実行委員)を立ち上げ、行程の内容や宿舎での過ごし方などを自分たちで決めました。「安全・協力・思い出～いっしょに協力 ㊦すれない思い出 ㊧つでもどこでも安全に～」をスローガンに掲げ、みんなで支え合いながら3日間過ごしてきました。関東地方が梅雨入りをする日に出発予定でしたので天気を心配していましたが、1日目は天候に恵まれ、鋸山を登山して日本百景にも選ばれている素晴らしい景色を見渡すことができました。2日目は天候に応じた行程に切り替えました。嵐のような風雨の中、宿舎で安全に貝のフォトフレームを作ったり、岩井学園カルタをしたりして楽しみました。3日目の鴨川シーワールドでの見学活動では、事前にグループごとに計画を立てて、仲間と協力しながら行動することができました。シャチショーで全身びしょ濡れになった体験は忘れません!

自然の雄大さとともに厳しさも体験した3日間は、普段の学校生活では味わえないものでした。また、友達との宿舎での生活では100人を越える大人数で生活するので、時間を守って集団で行動するために、一人ひとりの意識を高めて生活することを心掛けました。自分のことだけでなく、互いに声を掛け合いながら過ごす姿が次第に増え、学年全体として成長を感じた岩井自然体験教室になりました。そして、スローガンの中にある、「安全・協力・思い出」の意味を再確認できるなど、思い出に残る岩井自然体験教室になりました。この3日間の成長を今後の生活につなげていく5年生の姿を楽しみにしててください。

3年生

5月の予定が雨で延期になり、待ちに待った遠足に行ってきました。朝は晴れていたものの、途中で雨が降る予報の中、出かけました。昨年から少しずつ校外へ出かける学習が始まりましたが、まだまだ心配な部分もありました。特に、引率の教員が低学年の時より減ったことで、一人一人がしっかりと行動することが求められます。道の歩き方、電車内のマナーなど、出発式で話をして出かけました。電車では、想像以上に上手に乗っていた車両と、電車好きが多く、珍しい車両に終始はしゃいでいた車両とありましたが、友達と乗る電車は特別ですね。

新井宿駅からグリーンセンターまでは、ちょうど算数で学習している「長いものの長さ」の学習の仕上げとして、約1キロメートルの距離を体感することもできました。

アスレチックエリアでは、コースを何度も楽しむ子、休憩をしながら過ごす子など様々でしたが、たくさん体を動かすことができました。クラスで集団遊びをしたり、ピオトープの生き物を観察したり、芝生に寝転んだり、思い思いのゆったりとした時間も過ごすことができました。

日差しが照りつける中、雲の動きも確認しつつ、早めの昼食をとりました。どの子も嬉しそうにお弁当箱の中を見せてくれ、昨年はできなかった、友達と向かい合ってお弁当タイムとなりました。心配していたお天気も、持ち堪え、暑さとの戦いの中、午後は展望滑り台と遊具広場で思いっきり遊ぶことができました。遊ぶことも遠足のめあての大事な一つ。しっかり達成し、有意義な1日となりました。

2回のお弁当作りを始め、準備や体調管理のご協力ありがとうございました。